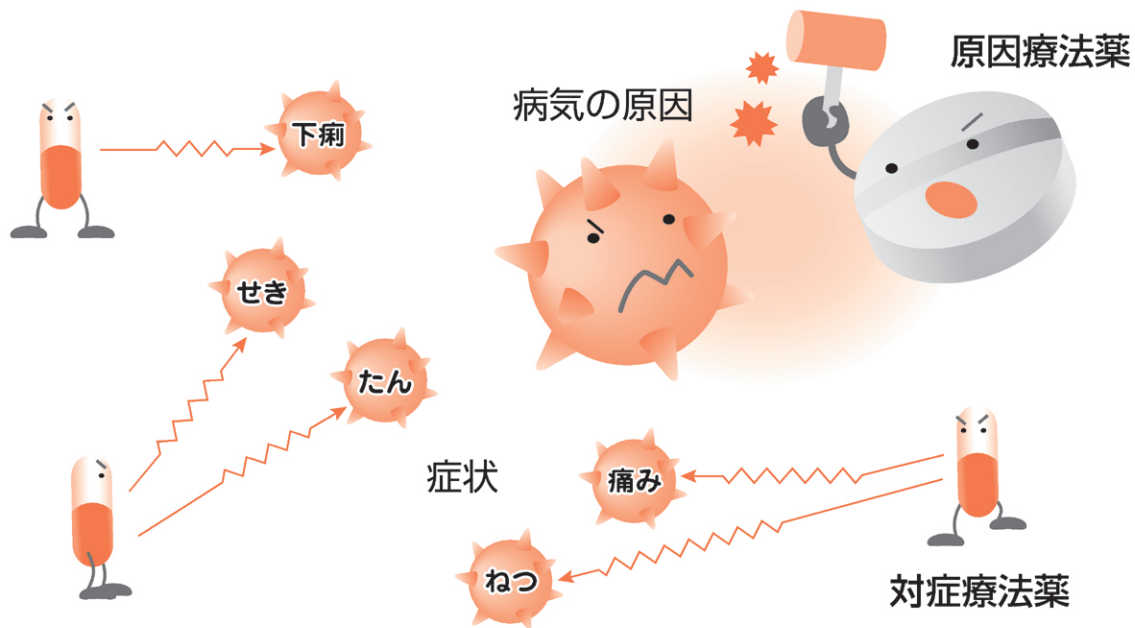


# おくすりの2つのはたらき



おくすりのはたらきは、病気の原因に効果を示す『原因療法薬』と病気の症状を抑える『対症療法薬』の2つに分けることができます。

## ● 例えば

### 原因療法薬

#### 抗菌薬

悪い細菌をやっつける薬です。  
細菌がやっつけられるまで使い続けます。  
途中でやめると細菌がまた悪さをすることがあります。  
抗菌薬は熱を下げる作用があるわけではありません。

### 対症療法薬とは？

#### 解熱薬

熱を下げる薬です。  
熱の原因のウイルスなどをやっつけるわけではありません。  
熱を下げて体を楽にするはたらきがあります。  
薬の効果が切れるとまた熱が上がってきます。

## つまり

原因療法薬は、病気の原因となっているものに効果があります。原因を取り除くため、しっかりと使用します。原因がなくなれば病気や症状が治まります。

対症療法薬は、病気の原因を取り除くわけではありません。その原因によって出ている症状を抑える薬です。

薬にはたくさんの種類があります。原因療法薬でも、対症療法薬でも、勝手に使用したりやめたりしてしまうと、症状が悪化したり長引いたりすることがあります。薬をいつやめてよいのかなど、疑問や質問がありましたら、医師や薬剤師に相談してください。